

事業所における自己評価結果(公表) 令和3年度

公表: 令和 4 年 3 月 14 日

事業所名 未来サポート はぐくみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・子どもたちが過ごしやすいように動線を工夫している。	・コロナ禍において安心安全なスペースを保つといった意味では厳しい課題であったが、今後も状況に応じて対応していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・丁寧な支援ができるよう配置している。	・個別・グループ療育時、職員が1対1での支援を行っている。今後も継続して職員一人一人の専門性を高めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0		・個々の子どもの状態に合わせた工夫を今後も進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・朝の掃除、活動終了ごとに消毒・清掃を行っている。新型コロナウイルス感染予防のため、遊具、玩具においても活動の合間に消毒を行っている。	・引き続き室内の消毒、換気を徹底し、感染防止に努めてまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		・週1回行われている個別支援会議(全員参加)において、PDCAサイクルで振り返り、個別支援計画の実現を目指していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・年に1度実施している。	・児童発達支援事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し、改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・自己評価結果をHPにて公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	・コロナ禍の為、外部研修の機会がほとんどない。	・外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めていきます。 ・職員それぞれが、自己研鑽や知識を得ることができるような環境を整えます。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		・利用に際しての見学、契約時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に生かしています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に表記しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		・個別支援計画に沿った支援を心がけています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	各児童のケース会議で具体的な支援について話し合っている。職員によってバラつきがないように、理解・実践・振り返りを行っている。	・課題内容や指導の仕方についてミーティングで話し合い、共通の目標をもって取り組む事を目指しています。 ・プログラムの目標や子どもの様子に合わせて職員の役割やサポートの仕方を話し合えるよう努めます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		今後も継続して ・1回の指導内容の中に手指課題、社会性、人間関係、認知などからいくつか選んで偏らないように立案していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		・個々の発達状況に応じて内容を発展させ、一人ひとりに合わせた活動形態をとっていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		・事前に、支援の内容(教材の使用)や児童の配慮点などを確認している。十分な時間が確保できるよう工夫していきます。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・短時間ではあるがその日に計画していたことや観察視点からの様子や反省点、共有する視点を伝える時間を持つようになっている。	・隙間時間で行うことが多い、ミーティングの時間をしっかり確保していきたいと思えます。	

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・支援内容、様子、課題点など毎回記録し、支援の参考にしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	概ね3カ月に1回モニタリングを行っている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・管理者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・必要に応じて行っている。	・関係者との連携を今後も図っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	・該当児童の在籍がない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	1	・該当児童の在籍がない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・該当児童の在籍がない。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	・保護者の要望に応じて行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	・保護者の要望に応じて行っている。	*今年度対象となる利用者はいませんでした。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		・事業として交流活動等に実績はありませんが、児童が通園先と療育を平行利用出来るように通園日の調整したり、保護者の希望で通園先との連携を行っていきます。周知に努めます。
保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	・担当者が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		・電話や連絡帳のやり取り、また送迎時に様子をお伝えして、情報共有出来るようにしています。保護者が気軽に相談できる事業所となるよう努めます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	・契約時に説明している。	・契約時に説明を行っております。また、記載事項の変更については随時書面にてお伝えしていきます。周知に努めます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		・保護者との面談回数を増やし、計画の共有を図っていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		保護者の方からの要望があれば、時間を取ってゆっくりお話しさせていただいています。気軽に相談していただけるような場所となるよう努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	コロナ化のため、今年度は年長児の保護者を対象に開催した。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		・個別の相談にはいつでも応じられること、要望については可能な限り、柔軟に対応できる体制が整っていることなど、周知してもらえるよう努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・職員全員徹底している。	

者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	社会福祉法人きぼう全体で地域の方にも参加していただける「きぼうまつり」を毎年開催していたが、新型コロナウイルスの影響により開催できていない。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	・保護者への周知は行っていない。	・防犯やすべての想定される災害についての訓練等がまだ行われていない為、今後実施していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	・年に2回実施している。	・今後も実際の災害に備えた対応を検討しながら多くの利用者に訓練の機会が提供できるような工夫をしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・面談、契約時に確認し職員に周知している。また、新情報については保護者に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	・食事提供などは行っていないが、イベント時のおやつは保護者との確認の元で提供している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	・危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
非常時の対応	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・外部の研修に職員が参加したり、職員ミーティングにて社内研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	2	・現在身体拘束の必要な子どもの利用はない。	・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一次性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合には記録に残すことにしています。また、次年度より保護者にはそれらを契約書に記載し説明させていただきます。 *対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。